

知床の海と未来 ～豊かな海の生態系と地球温暖化～

2025年 **8月31日** (日)

14:00~17:00

会場：斜里町公民館
ゆめホール知床
入場無料

近年、サケ類の漁獲量激減や流水の減少など海洋環境変化を強く感じませんか？
世界遺産としての価値と魅力の理解を深め、気候変動が知床の海洋生態系に与える
影響を学びながら、私たちができる具体的な行動を考えてみましょう。

基調講演 松崎浩二氏 (飼育員・学芸員)

「新種の宝庫！知床半島。深海までも世界遺産??」

1974年生まれ。東北大学農学部生物海洋学講座卒、
1998年からアクアマリンふくしま勤務。2011年の東日本大震災後、
羅臼漁業協同組合の協力で深層水施設を活用し、研究者との共同
研究を通し23種類の新種や日本初記録の生物を知床沖で発見。



事例紹介 林野庁 北海道森林管理局
知床森林生態系保全センター

「知床世界自然遺産地域における北海道森林管理局の取組みについて」

パネルディスカッション

「知床の海から考える、私たちの未来とアクション」

ファシリテーター	山村 織生 (北海道大学 大学院水産科学研究院 准教授)
パネリスト	松崎 浩二 (アクアマリンふくしま)
	荒木 耕治 (屋久島町町長)
	関 勝則 (知床ダイビング企画)
	加瀬 里紗 (羅臼昆布・ウニ漁の家業を営む嫁)
	長崎 陽登 (斜里高等学校3年次)

海と、森と、人がつながる。